

# 株式会社宝荘ホテル (道後御湯)

代表者 / 代表取締役社長 宮崎 光彦  
業 種 / 旅館ホテル  
所在地 / 愛媛県松山市道後鷺谷町 2-20  
連絡先 / 089-931-7111

## SDGs 達成に向けた取組み

### 持続可能な温泉文化の継承と地域共生への取組み (自然環境に配慮した取組み)



#### 目的・背景

国内を代表する温泉地である「道後温泉」の御湯の恵みを存分に活用しながら将来も継続して温泉街の賑わいを保つため、自然環境への配慮や地域共生を十分に意識した旅館運営（経営）が必要であると考えています。

#### 具体的な取組内容・成果

##### ◇自然環境に配慮した取組みの具体例

- ・宿泊予約客数の増減により道後温泉からの配湯をコントロール（休止・給湯の手続き）しています。（丸1日の給湯休止で約54トンの温泉の節水）
- ・食事は完全予約制。予約時にアレルギーや苦手な食材のヒアリングを徹底することで作り過ぎない、食べ残さないフードロス削減のオペレーションを実行しています。
- ・露天風呂および客室空調は各室個別システム導入によりエネルギーの消費を抑制しています。
- ・館内および外観（外壁）の照明はすべてLED化しています。
- ・全室客室シャワーにウルトラファインバブルヘッドを採用。これにより肌の洗浄・保湿・保温に効果があるとともに、使用水量を従来より50%削減し、節水効果につながっています。
- ・館内すべてのトイレには節水型洗浄機付き便座を導入しています。
- ・宿泊客へ提供するアメニティグッズ（クシ・歯ブラシほか）の脱プラ化を推進しています。プラ以外の製品の採用やプラ成分量の少ないバイオマスシリーズのアメニティを導入しています。
- ・隣接する自社所有建物屋上に太陽光発電パネルを設置して、再生可能エネルギーの有効活用の仕組みを導入しています。
- ・温泉貯湯槽に湯量計を設置（新規設置工事）して、残湯量や使用量をデータ化および数値化することで適正な給湯量を保っています。

（必要以上に給湯、貯湯しない）⇒令和5年10月導入

#### 担当者の思い

旧ホテル（宝荘ホテル）からの全館建て替えオープンをきっかけにアメニティの脱プラ化や節水シャワー、LED照明の導入や食品ロスへの取組みを始めました。“温泉”という自然からの恩恵を大切に活用しながら、温泉入浴という文化を後世にも継承していきたいと考えております。

〈担当 宮内 紀英〉

